

ウォールアート日本一を目指し

多久町まちをアートで彩る

アートで多久のまちに賑わいをつくり出そうと3年前から始まつた「多久市ウォールアートプロジェクト」。以前から商店街活性化のため、多久市まちづくり協議会が中心となってフリーマーケットや青空市などを開催していましたが、何か継続性のある取り組みができるのかと検討していた時に、アーティストの富永ボンドさんがシャツターや壁に絵を描く

アートの力で、まちなかに明るさと賑わいをつくりだそうと始まつた「多久市ウォールアートプロジェクト」で、まちに新たな人の流れが生まれています。今回は、アートで多久を盛り上げようと取り組んでいるこのプロジェクトをご紹介します。

シャツターや壁に描かれた色鮮やかな絵に、道行く人が足を止め、眺める様子を見かける商店街。



取材協力

富永ボンドさん

3年前に福岡県から多久市へ移住。木工用ボンドを使って描く新進気鋭のアーティスト。



“ウォールアート”を提案しました。まちづくり協議会とエノグロジエクト。アート実行委員会が協力して、このプロジェクトを進めました。富永さんは「商店街のシャツターをキヤンバスに、いろんなアーティストに作品を描いてもらえば、多久を“日本一のシャツターアートのまち”にすることができるんじゃないかと考えまし